

Vol.101 No4
2010.8.6

農職組ニュース

茨城大学農学部
労働組合

職場懇談会を行いました

7月15日（職員）、7月22日（非常勤職員）昼休みに職場懇談会を開催しました。

執行部の活動報告と全大教の活動報告を行った後に、各人から意見をいただきました。今年度の組合活動に反映させていきたいと思えます。

意見として・・・

- ・FSセンターの技術職員の人数が減り、さらに農業機械の更新ができないため、機械のメンテナンスに時間がかかり、実質作業労働時間にしわ寄せがきている。また、そのような状況下では、作業リスクが高まっている。
- ・キャンパス整備の実労働時間が増加している。整備方針を含めて考えて欲しい。
- ・雇い止めの問題が一番大きい。安心して仕事に専念できる環境を作って欲しい。

などの意見が出ました。組合活動を通して意見を実現化できるように頑張りたいと思えます。

7月24・25日全大教定期大会が開催されました（報告）

（黒田執行委員長、小川副委員長が出席）

人件費削減要求が日増しに強くなっている。公務員人件費20%削減が政党で取り上げられているが、文科省も大学への適用反対意見は一致している。

人事院勧告準拠により各国立大学法人の給与削減が行われているが、鹿児島大学では行わせなかった組合活動の例がある。運営交付金と給与問題は別問題として考えられる。

教職員とも定年延長を目指すことが大事である。

過半数代表者になることのメリットは大きいという認識が示された。

などが重要課題です。

現在進行形の問題として、政府予算シーリング8%問題が出てきています。2009年効率化係数2%廃止は、現民主党下でもできた。公務員政策に巻き込まれない対策が必要との意見がありました。

これからの重要問題として、人事院勧告の概要が見えてきました。給与0.2%削減、ボーナス3.9ヶ月に削減、さらに運営交付金10%削減など非常に厳しい状況となっています。

全大教第22回教職員研究集会の開催について

- と き： 9月17日（金）午後1時～18日（土）午後4時
会 場： 横浜市立大学（横浜市金沢区金沢八景キャンパス）
交通費： 全額組合負担です
申込み： 農学部労働組合に8月27日までに

